

講義名	卒業研究（商）				
講義コード	54411	授業形態		開講期・曜日・時限	通年 金曜日 4 時限
担当教員	柿沼 英樹			サンパリンク・コード	
学部・学科				演習分野	
商学部経営学科・商学部マーケティング学科				経営管理論・人的資源管理論	
概要説明					
このゼミでは、組織（会社）と個人（従業員）の関わり合いに主な関心を向けながら、企業経営のさまざまなトピックについて考えます。具体例には、「会社が従業員を管理する」ための仕組み（組織文化、リーダーシップ、人事管理など）や、「従業員が会社による管理に反応を示す」結果としてのモチベーションや業績、キャリアなどが挙げられます。ただし、これらに限定するわけではなく、経営管理論と人的資源管理論の授業で触れるような内容を広範に取り扱います。 4年次の「卒業研究」では、各自で設定したテーマに関する論文執筆に取り組んでもらいます。企業にこだわらず、さまざまな組織やそこに関わる個人をめぐる問題意識を持ち、調査と分析を（独力で）進め、卒業論文を書き上げてください。卒業研究において考えるテーマは、（経営学の範疇のなかであれば）自由に考えて構いません。 毎週の授業は、2～3名の卒業研究について進捗報告を受けたのち、その内容に関する対話（質疑やコメントへの返答）を履修者全体で行います。履修者個人と教員のやり取りを介したアカデミックな視点と、履修者同士でのやり取りを介した学生らしい視点とを上手く織り交ぜながら、卒業論文をブラッシュアップしていくことを想定しています。そのため、自分の研究を進めることだけでなく、周りの学生が行っている研究にも関心を持って取り組んでくれることを期待しています。					
主な卒業論文のタイトル					
2021年度から開講のため、卒業生なし					
教員よりの要望					
ゼミのかたちや歴史と一緒に試行錯誤しながら作ってくれる学生を待っています。ただし、基本的な方向性としては「いろいろと学び、考える」ことを求めますので、友達や思い出をつくる場としての側面だけではないことを事前に理解しておいてください。					
選考方法					

評価方法	
・ゼミでの活動内容（発表、質疑応答での発言、レポートなど）を総合的に評価します。 ・毎回の出席を前提としているので、合理的な理由のない遅刻・欠席は減点対象とします。	
教員英字氏名	研究室
KAKINUMA, Hideki	研究棟 3510
最終学歴	
京都大学大学院経済学研究科博士後期課程学修認定退学	
学位	
博士（経済学）（京都大学）	
主な研究活動・社会活動・研究業績	
<主な研究テーマ> ・タレントマネジメントに関する研究 ・サービス企業の人材マネジメントに関する研究 ・経営学領域の学術研究動向の計量的把握に関する研究 <社会活動> ・三菱総合研究所 新たな雇用のあり方研究会 委員（2021年2月～11月） <最近の主な業績> 柿沼英樹・土屋裕介（2020）『タレントマネジメント入門：個を活かす人事戦略と仕組みづくり』ProFuture. 柿沼英樹（2022）「人材育成とキャリア」西村孝史・島貫智行・西岡由美編著『1からの人的資源管理』（pp.105-119）. 碩学会. 柿沼英樹・中本直希・野口寛樹（2021）『専門職サービス組織研究の包括的レビュー』『組織学会大会論文集』10(1), 97-103. 柿沼英樹（2021）『2000年代以降の人的資源管理研究におけるタレントマネジメントの位置づけ－計量書誌学的手法による探索的分析－』『流通科学大学論集 流通・経営編』33(2), 53-71. 柿沼英樹・山本彰子・若林直樹（2019）「従業員定着に対する組織的要因と人事管理要因の影響：京都市内宿泊施設を事例とした探索的分析」『組織学会大会論文集』8(1), 177-182.	
趣味・特技	
・音楽（最近では専ら聴くだけですが、高校・大学時代には楽器演奏もしていました） ・スポーツ観戦（特に、野球とモータースポーツ）	
所属	
商学部経営学科	
所属学会	
日本労務学会、組織学会、経営行動科学学会	
専門分野	
人的資源管理、組織行動、キャリア	
担当科目	
経営管理論A・B、人的資源管理論、経営学入門 など	
備考	
・時間割上の配置日時以外にも、みなさんの希望などに応じて活動を行う可能性があります。	
実務経験の有無及び活用	